

日本におけるピア・サポートの展望の考察  
ーブリティッシュコロンビア州における  
ピア・サポートプログラムに関するフィールドワークからー

立命館大学大学院  
応用人間科学研究科  
対人援助学領域  
人間形成・臨床教育クラスター  
彦坂 茉里

本研究では、教育現場における児童生徒の困りごと解決に際して、近年更に注目されてきている教育現場におけるピア・サポートに着目し、実践の枠組みであるピア・サポートプログラムの展望について考察を行った。

実際に現場で行われている取り組みを知るために、日本にピア・サポートプログラムを導入する際に参考にしたカナダのブリティッシュコロンビア州においてフィールドワークを行った。

その結果、それぞれの現場に応じて必要なピア・サポート活動が行われており、援助する立場であるピア・サポーターは、自身の経験を活かしてピア・サポートに携わっていることがわかった。また、カナダの教育現場でピア・サポートが盛んに行われている要因として、カナダが多文化主義国家であるということと、独自の教育制度が挙げられる。

ピア・サポートプログラムはあらかじめ定められた実践を形式的に行うものではなく、それぞれの現場で必要とされている活動を、試行錯誤を繰り返しながら実践していくものである。その効果は期待できるものであるため、日本におけるピア・サポートの有効性についての認知度を広める必要がある。